

宮作便り 第13号

平成 17 年 6 月 29 日発行

少し、いい話

常務 大平幸二

この前スタンド部会の総会后、懇親会での話
私が国道給油所の所長成り立ての頃、燃料油脂新聞の新潟県特
集で国道給油所の紹介記事を書いてもらった時、インタビュ
ーの中で激励の言葉をいただき、その時のことが私にとって大変
力になったことを話したら、記者本人も大変感激して、お互い
の仕事の中で良い話が少なく気持ちに張りをもちました。その
後、記事に載ったので紹介します。

◎…先日会合の宴席で「以前SSの所長を務めていたとき、記事を書いてもらい勇気づけられた」という話をいただいた。「ちょうど気落ちしていたときだけに本当に励みになった。あの記事をきっかけにがんばろうという気持ちになり今がある」という記者冥利に尽きる話をいただいて記者のほうに励みになった。

解決の糸口すら見えない話を取材することが本当に多くな

SS
ちゅうと
いい話

某組合役員の話。言葉借りれば「飲まなきゃやってられない」という気持ちに立場が違っても痛いほど分かる。三十年前と記事の中身が変わらないという話を聞いた。市況構築は昔も今も。費の河原が状態だからだ。明るい話題が少ないのが現実だが、励みになったという言葉を文字通り励みに、少しでも元気の出る話題を捜して行きたい。

(村上市 新潟)

燃料油脂新聞 信越版 6月6日記事

自己メンテナンス

総務経理部 石栗吉枝

「心から、今日は調子いいなアと感じる日は、一年の中で二日しかない」何かで読んだ気がします。皆さん、今日の体調は如何ですか？

最近、ふとしたはずみで足を痛めてしまいました。

医者に行ったところ、前にくじいたところが完治しないまま、固まってしまったということでした。

幼い頃は病弱で、痛い思いを結構

したので、あんな思いは沢山だと、

少しのことで医者に行って、きち

んと直したつもりでいたので、信

じられない言葉でした。

皆さん体調が悪くても放置して

いませんか？

昔、親に良く言われました。

「若いうちの無理は必ず歳をと

ってから出てくる」って。

悲しいかな最近、親の言葉が身に

しみるようになってきました。

若いうちは感じなくても、歳を重

ねると少しずつ身体の変化を感じてきます。

休んでも疲れが残ってしまったり、今までと同じ事をやっても、出来なくなってしまうたり、傷の治りが遅くなったり。

全てを歳のせいには出来ないけ

ど、誰でも平等に歳をとります。

そのときになって後悔しないよ

うに、自己メンテナンスを始めま

せんか？

衣・食・住の中で、とりあえずは

食の見直しから。

生きる基本は食生活、幸せになり

たいと願うならまず食べること

だと最近頻繁にテレビで言われ

ています。

野菜中心の和食で、一日三食の規

則正しい食事。

ゆっくりり良く

噛み、塩分を

少なく。

いい尽くされ

た事ではある



けれど、そのとおりやるうと思うと意外に難しい。

でも全ては自分の為、自分の健康は、自分でしか守れないですよ。快適な生活を持続するため、ちょっと頑張ってみませんか。

国道給油所 大田保

私の入社は、昭和五十一年六月村上給油所に勤務して二十五年、その後、国道給油所に行き三十年になりました。月日の経つのは早いものです。

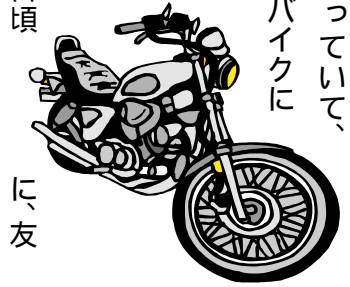
最初の勤務の村上給油所は建物がなく、屋根もなく、入梅時期、冬季はカッパを着て仕事をしました。

大雪になるとスタンド前の道路やスタンド内の除雪をしなくては仕事が出来なく、早番の時は少し早く出勤し除雪の仕事から始め大変でした。今でもその頃を思い出します。

また私の趣味は、子供の頃からバイクが好きで、高校時代は小さ

いバイクに乗っていて、いつかは大型バイクに乗って見たいと言う夢を持っていました。

入社五年目頃



に、友

人が乗っているのを見て、自分も大型バイクに乗ると言う夢をかなう事が出来ました。

現在、オートクラブの会員で、三十才から六十才以上の会員もいれて十人ほどいます。月一回のツーリングをしています。また年一回のツーリングでは、県外へ一泊で出かけています。これからも楽しく続けたいと思います。

健康な心の条件

建材部 齋藤慶一

最近心が痛むニュースがとても多い。殺人、少年による凶悪犯罪、集団自殺等。昔はもっと生活にも仕事にもゆとりがあったものが、現在は長引く不況の影響な

のか心のゆとりや人生を楽しむことが減ってきている気がする。

実際、今交通事故で亡くなる人が年間八千人弱、なんと自殺で亡くなる人は三十三万二千人以上もいる。これからの時代は心にもシートベルトが必要のようだ。

先日会社で行かせて頂いた講演で「健康な心の条件」というのを聞いてきたので紹介します。

自分の考えで生きている
話すべき良い友人がいる
やりたい事をしている
安心感をもって生きている
良い家庭に恵まれている
仕事に満足している
現実をみつめる力がある
心の柔らかさがある
色々な状況にうまく適応できる

身体から生まれてくるエネルギーを活用できる

その他沢山素晴らしいお話を聞かせて頂きましたが、やはり沢山の人達と出会い、楽しく前向き

に生活を送っていれば、家庭や仕事の環境も良い方向に進んでいくと思う。

これから益々暑くなっていますが、健康管理に気をつけて健康な心で頑張りましょう。

十年目

設備工事事部 五十嵐利幸

早いもので私も入社してから十年目になりました。

最初「宮作」に入るきっかけは親の進めで、「宮作」と聞くと「ガソリンスタンドをやっている会社」としか思いつきませんでした。なので「設備屋さん」という仕事は何をする仕事かわからず入りました。

しかし、年々やっていくうちに、仕事も覚え一人で現場も任せてもらえる様になりました。それまでには、いろいろな大変な仕事や失敗もしてきました。その度に先輩やいろいろな人に助けられました。

また、お客様に「こんなに良くしてもらってありがとう」と喜んでもらえる事も励みとなり、ここまでやってこれました。

十年というのは長い様であったという間でした。まだまだ覚える仕事は沢山にあります。

これからもいろいろ失敗をしたり、皆さんにご迷惑をかける事が多々あると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

毎年毎年、気温が上がって暑くなってるような気がします。地球温暖化の影響でしょうか？

もうすぐ村上大祭です。事件・事故に巻き込まれないようにして下さい。

次号は社長・富樫礼子・高橋充・近孝史・三野原政信さんに原稿お願い致します。

総務経理 岩澤栄子